

---

# MOON LIGHT

紅闇 澪音

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

MOON LIGHT

### 【コード】

N2989F

### 【作者名】

紅闇 澪音

### 【あらすじ】

死神の青年は人間の住む、人間界へやってきた。彼は人間界が嫌いだった。何故ならここに來るたび、あの時の記憶がよみがえってくるから…。でも、一人の少年が彼を変えた。少年が居てくれたから、人間界のこと少しだけ…。好きになれた……。THE ROOT OF FEVERILの番外編。

いつから人間界が嫌いになったのだろうか……  
死神の青年…禍因は夜空を眺めていた。

ふと気がつく外にいた。  
空には瞬く星、そして下界を照らす銀の月が輝いている。そう、  
ここは人間界だった。

「……人間界に来たのか……」

何故だか外に出て月を見たくなつたのは…いつぶりだろうか。

生前…今から十年ほど前のこと…  
あの時もこんな夜だった。満月の光が微かに禍因の部屋に差し込んでいた。

光に気がついた禍因はカーテンを少し開けた。真つ暗な部屋を照らしてくれると思つたから…。  
カーテンの隙間から入る満月の光が禍因の心の闇を照らしているよ  
うな気がした。

この月明かりが嫌なことを忘れさせてくれる……。  
禍因は庭に出て空を見上げた。

誰もいない庭にただ一人佇んでいる。そんな彼を月が照らす。  
空は深い青に染まり、星がきらきらと光る。そして……眩く光る月  
…。夜の闇を照らすゆづいつの輝き。

この世界でも、こんなに綺麗な景色が見える場所があるなんて……。  
禍因はもう一度こんな美しい風景が見えることを願って部屋に戻り、  
ゆっくりと目を閉じた。

そつだ……あの時初めて人間界にもいいところがあると感じたのだつた。

禍因はあの場所へ降り立つた。

そこは禍因とアレスが眠る場所……。

特にこの場所には月の明かりがよく注ぐ。海の波音があたりに響く。海面に満月が映し出されている。

禍因はその場所に座る。目の前の美しい風景に思わず涙する。

……こんな気持ちになるのは何年ぶりだろうか。自分に生きる大切さを教えてくれたあの日の月明かり……

「……禍因……？」

不意にかけられた言葉に微かに顔を上げる。

「カインか……何しに来た？」

カインは禍因の隣に座つた。

「もしかしてお前も月を見に来たのか？珍しいな。」

「オレだつて月見くらいはする。」

カインはキョトンとした顔で禍因を見る。

……そんな目でオレを見るなど言いたいところだつた。

「悪いじゃま……したか？」

「別に……。……お前だつたら……なんて言うか……悪くない、……ような

「…。」

とまどう禍因を見たカインは微かに笑うのがわかった。

「…こついうのを何て言うかオレには…判らないだけだ。」

「ごめんごめん。オレが悪かった」

オレは思わず溜息をついた。

「…カインは何をしにここ来たんだ？」

「…別に理由はないけど、何となく月を見たくなくなったから…此処に来ただけだけど」

カインは墓に小さな花をそっとおいた。

「…何故オレの墓に…。」

「何故って…おいおい…そんなのも判らないのか？」

「オレにとつて…大切な人の…だからだ」

一瞬強い風が吹いた。周りの草花もふわふわと揺れる。墓に掛かった深紅のスカーフが靡く。

「…大切な…人…。」

「そう…大切な人。」

そういつてカインはにこつと笑う。

「…貴様は普段どういう目でオレを見てるんだ…？」

禍因の問いにカインは苦笑する。

「だーかーらー…大切な友達って感じかな？」

カインはニヤニヤと笑う。そんなカインを見てつられて禍因も思わず笑う。

「おっ！禍因も笑うことは笑うんだな。ってかお前が笑っていると見たの初めてかもな！いつつも無愛想で笑うことのないインテリ君かと思っていたからな」

「…うっ…何でインテリ君なんだよ」

禍因は苦笑した。

「え？お前眼鏡かけるとめっちゃ優等生でもの知りに見えるからな…！」

…久しぶりだった。こんな風に笑うのは…。カインが居なければオレは永遠に心を閉ざしたままだったのかもしれない…。カインと居るときだけは何故か素直になれる気がした…。

「なあカイン…。」

「…なんだ？」

「お前が…オレの凍っていた心を溶かしたんだ」

カインは禍因の手を握った。

氷のように冷たい禍因の手をカインは炎のように温かい手で温めてくれる気がした。

月よ……………このままオレたちを照らしていてくれ…。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2989f/>

---

MOON LIGHT

2011年1月6日09時56分発行